

地域のお宝発見！！【第2弾】



身近な支えあい、地域の大切な“たからもの”です。

皆さんの近くにある”たからもの”をどんどん紹介していきます☆

今回ご紹介するのは…

『オリーブカフェ』です。

オリーブカフェでは毎月第二水曜日の午前中、月に一度、参加した人が自由に集まりお茶会をします。

コロナ禍のため、机を分けるなど、通常通りの開催とはいきませんが、それでもみなさん、この日を待ちわびている様子で、軽食やコーヒーなどをおいしくいただきながら、楽しそうに過ごされました。善光寺の御開帳、諏訪の御柱祭など、「コロナが落ち着いたら海外旅行にも行きたいね」などと、みなさん話題は尽きないようで、大盛り上がりの1時間半でした。

オリーブカフェを開催している場所は、もともと「さんてん喫茶」という喫茶店がある場所です。さんてん喫茶のオーナーだった入戸さんは、お店を持つことが夢で、東京に住んでいましたが、南箕輪に移住し、夢だった喫茶店をオープンしました。喫茶店は順調でしたが、2014年6月、入戸さんは病に倒れてしまいます。なんとか体調は回復したものの、喫茶店を再開するほどの体力はありませんでした。入戸さんはなんとかもう一度と思い、ボランティアさん等の協力のもと、月に一度のオリーブカフェ、年齢、性別、障がいのあるなしに関わらず、誰もが参加できる喫茶店を開催するようになりました。

コロナ禍で中止にすることもありましたが、それでもめげずにボランティアさんなどと打合せを重ねて、なんとか再開できるようになりました。入戸さんは、「みんなが来てくれるから頑張れる」と話をされます。ぜひ入戸さんや優しいみなさんと一緒に、おいしいコーヒーをいただいてみてはいかがでしょうか。

男性の参加者がいないので、男性もぜひ！！とのことでした。



皆さん楽しく過ごされています。元喫茶店ということもあり、豆をブレンドした本格的なコーヒーをみんなで楽しめます☆



オリーブカフェについて話をしてくだる入戸さん（右）

【令和4年6月8日取材】